

第 2 回日野市指定管理者市民評価委員会議事要点録

日 時	平成 28 年 5 月 24 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所	市役所 4 階 庁議室
出席者	坪島委員長、鈴木副委員長、岡村委員、高橋委員
議 題	<p>1. 評価</p> <p>(1)日野市立中央福祉センター、湯沢福祉センター 社会福祉法人 日野市社会福祉協議会</p> <p>2. 評価</p> <p>(2)日野市立交流センター（全 6 施設） 株式会社 日野市企業公社</p> <p>の報告、質疑、採点</p>
	<p>●評価の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による報告 10 分 ・市民委員からの質疑（回答：指定管理者） 20 分 ・市民委員からの質疑（回答：主管課） 10 分 ・まとめ（採点） 10 分
議題 1	<p>●評価</p> <p style="text-align: center;">日野市立中央福祉センター、日野市立湯沢福祉センター： 指定管理者（社会福祉法人日野市社会福祉協議会）による報告</p> <p>＝主な質疑（指定管理者）＝</p> <p>（質問）</p> <p>平成 23 年度の指定管理者市民評価委員会及び選定委員会の際に高齢者予備軍の呼び込みや利用者減少への対策を要望した。湯沢福祉センターは地理的に難しいかもしれないが、中央福祉センターでは対策を取ったのか。</p> <p>（回答）</p> <p>昨今介護予防が強く言われているが、日野市社会福祉協議会として介護予防教室について中央福祉センターを利用して定期的に行っている。湯沢福祉センターは傾斜地であることを逆手にとって健康体操で体力をつけてもらうなど今後活用できる余地があるかもしれない。</p> <p>（質問）</p> <p>前回、協定を結ぶ際の要望として利用率の向上を挙げたが、先程の説明に入っていなかった。事業報告書の中で、どこが指定管理者の業務なのか明確でない。他の施設では報告書に稼働率が記載されているが、この施設は利用者数のみで評価がしづらい。</p> <p>入浴については、無料で利用者も固定されている。報告書に費用対効果の面で今後検討が必要ということが、5 年間も同じ文言が書いてある。利用者数は毎年ほぼ変化なく、特定</p>

の人のみ恩恵を受けているにも関わらず、莫大な光熱水費が発生している。湯沢福祉センターの方が指定管理料は高いが、利用者数は少ない。利用者一人当たり約 70 万円のコストがかかっている。福祉の観点から必要な施設だと思うが、市民に平等なサービスの提供を考える上で、このままで良いのか。

(回答)

看護師が入浴前に健康チェックをしており、一定の方々に対する見守りができている。血圧が高い方には入浴を遠慮してもらっている。設備が老朽化しており、入浴時間を制限しているほか、看護師の配置も人材不足で困難な状況があり、PR すると、限られた入浴時間に収まらないおそれもある。利用者には皆満足していただいている。

(質問)

看護師は入浴のためだけに来ているのか。

(回答)

血圧測定と入浴の見守りのために来ていただいている。

(質問)

利用者はひとり暮らしや高齢者世帯に限られるのか。家族がいても良いのか。この人数のために看護師の person 費や光熱水費を費やすのか。今後大規模修繕の必要も出てくるのではないのか。

(回答)

かなり高齢の方や、デイサービスに行っても来ている人はいる。市内に銭湯が無くなり、ひとり暮らし、高齢者世帯が増える中、それなりの必要性はあると思う。

(質問)

デイサービスで入浴して、また来るといのは無料だからではないか。何か他の方法に替えられないものか。

(回答)

指定管理者だけで判断できない部分もある。

(質問)

例えば入浴券を配るなどは市の仕事だが、5 年間何を検討していたのか。修繕費がかかり、利用料を取っていない中で、何とか赤字にしないでやっていくのは厳しい。入浴事業についてはもう一度真剣に検討していただきたい。

(質問)

福祉センターの施設の利用料金はどうなっているのか。

(回答)

1 区分 300 円だが、市の収入である。ほとんどが減免の団体である。

(質問)

中央福祉センターと湯沢福祉センターの両方を使う人もいるのか。

(回答)

シルバーパスを使ってどちらも来る方もいる。

(意見)

入浴事業が4割くらいのコストを占めている。お金の使い方のバランスからみて検討の余地がある。

(質問)

部屋を健康増進など、もともとの福祉センターの意味として使用してもらえれば良いのではないか。

(回答)

他の施設では有料であるなど、予約システムを使用するため予約しにくい、福祉センターは、窓口申込みであるため、高齢者にとって利用しやすい環境である。

(質問)

入浴後、利用者はお茶を飲んだりしているのか。

(回答)

水分補給をして休んでもらっている。茶飲み話はしていない。

(質問)

日野市社会福祉協議会が指定管理者として応募した動機や、重点を置いていることは何か。

(回答)

安全に利用していただくことに注力している。施設の老朽化が進んでおり、バリアフリーやユニバーサルデザインとは程遠いが、減免が適用されたり駐車場が多かったりすることから利用者は多い。安全面での不安を取り除くため、市に依頼して、煙突、高置水槽の撤去や壁面のひび割れの修繕をしてもらっている。また、空調管理など、利用者にご迷惑をかけないようにやってきたという自負はある。

(質問)

「ゆざわ・ここからネット」は有料なのか。

(回答)

「ゆざわ・ここからネット」は社会教育センターの事業だが、プログラムの内容によって材料費等を取っているものもある。

(質問)

利用者数に「ゆざわ・ここからネット」来場者は含まれているのか。

(回答)

含まれていない。ただし、「ゆざわ・ここからネット」が体操等で湯沢福祉センターの広い部屋を使う時は含まれている。

(意見)

主管課と協議して、残りの期間も頑張ってもらいたい。福祉関係者の会合の拠点にもなっている。少ない予算の中で苦労もあるだろう。他に応募がない中で引き受けてもらっている事情もあることは、理解している。

=主な質疑（主管課）=

（意見）

前回は資料が揃っていないなど不備が多かったため、指定管理者にすること自体難しいのではないかという意見もあった。日野市社会福祉協議会としてやっているため、指定管理料だけでまかなえているとは思えない。

（意見）

中央福祉センターは日野市社会福祉協議会と一体となっているので熱心だが、湯沢福祉センターは全然だという印象がある。利用料金が無料で黒字になるならこんな良い事業はない。誰がやっても同じである。他の団体がやれば収益をあげられるかもしれない。

（質問）

日野市社会福祉協議会の電話料も指定管理料に含まれているのか。

（回答）

電話料は福祉センターの受付専用回線のみである。

（意見）

前回、湯沢福祉センターは、夜間にはシルバー人材センターの人だけのため、緊急時の対応をどうするか指摘したはずである。体制図など形になっていないので心配である。

（意見）

日野市社会福祉協議会としては頑張っているが、福祉センターとしては明確ではない。稼働率の記載がなく評価しづらい。シルバー人材センターを雇ったから「社会参加の場を作った」というのは本来ではない。施設が老朽化しているのは仕方ないが、この場所を指定管理者としてどうしていきたいのかという情熱が感じられない。事故があっては困ることだけ考えているように聞こえてしまう。他に手を挙げてくれるところの情報を得るなどして、競争意識を持ってもらった方が良い。

（回答）

湯沢福祉センターに関しては、「ゆざわ・ここからネット」についてはかなり工夫してやっており成果も上がっている。また、中央福祉センターは日野市社会福祉協議会の事務所と一体である効果が高い。こうしたことから今後の方向性が自ずと見えてきている。

（意見）

ボランティアセンターは頑張っている。ただし、日野市社会福祉協議会の中核にいる人材が変わらないと変わってこない。

（回答）

<p>議題 2</p>	<p>利用者数は横ばいだが、サークルの数は増えてきている。そういった意味では活性化されている。</p> <p>(意見)</p> <p>公民館の予約が取れない人が中央福祉センターに流れてきているため、福祉以外の利用も多いが、色々な人が集うことも福祉の一環だと思う。ボランティアセンターの若者を活用してはどうか。</p> <p>(意見)</p> <p>設備面は行政として形を作らないといけないが、一部の人に偏っている風呂については、指定管理者への意見として方向を示して行ってほしい。</p> <p>＝まとめ (採点) ＝</p> <p>●評価</p> <p>日野市立交流センター (全 6 施設)</p> <p>: 指定管理者 (株式会社 日野市企業公社) による報告</p> <p>＝主な質疑 (指定管理者) ＝</p> <p>(質問)</p> <p>指定管理業務を行うにあたって最も注力している点はどこか。業務運営の基本はどこにあるか。</p> <p>(回答)</p> <p>市の施設なので、公平性をもった貸し出しができるかどうかと、安全安心の部分、これがまずきちっと担保できないといけないので、この部分に最大限の力を注いでいる。</p> <p>(質問)</p> <p>公平性とは予約の受付についてのことか。</p> <p>(回答)</p> <p>予約システムになってからは、簡単に予約を入れることができるので、利用の内容が正しいかどうかチェックできないという問題がある。ルールはあるが、悪意の利用もできてしまう。利用が正しいかのチェックをしている。今後、研究していかなければならない部分かと思う。</p> <p>(質問)</p> <p>営利目的かどうかは確認しているのか。</p> <p>(回答)</p> <p>使用時に使用目的をチェックしている。</p>
-------------	--

(質問)

災害があった時に、駅に近い新町交流センターや平山交流センター、豊田駅北交流センターに帰宅困難者が駆け込む可能性があると思う。この件について行政と打合せできているのか、独自で企業公社として何か対策を考えているのか、備蓄や毛布などの用意をされているのか、そのあたりはどう考えているか。

(回答)

基本的には地域防災計画の枠の中での対応になる。例えば実際に鍵がどこにあるのかという問題もあり、合鍵を作って地図にポイントをマークし、何かあった時に瞬時に動けるような体制をとっている。これが地域防災計画の枠の中でみた場合の対応である。

地域防災計画の中で動かない場合では、指定管理者が雨量の多い状況の中で独自でいつでも動ける体制をとっている。今年の9月に北関東で大雨被害があったときは雨雲の動きをレーダーで確認するとともに、国交省の多摩川の水量計測をネットで確認し、地域協働課長と話し、「避難の勧め」という形で落川交流センターの利用者に危険だと説明し、自主的に事業をやめてもらって帰宅してもらった。

備蓄については、量は少ないが、水や毛布は本社に置いてあるので、いざという時に対応ができる。

＝主な質疑（主管課）＝

(質問)

シルバー人材センターの接客指導に問題がある気がする。市民サービスの窓口であるということシルバー人材センターの人に徹底的に教え込まないといけないと思う。そこも企業公社の仕事ではないか。

(回答)

企業公社の社員教育は、シルバー人材センターの人も含めてやっている。障害者差別解消法が平成28年4月1日から施行された。極力コミュニケーションをとって、どんな方でも使えるように努力するというのが主旨と思うが、それを踏まえて企業公社独自の研修を5月30日に行うとのことだ。ありがたいと思っている。

(質問)

光熱水費はどこでも大きい。電気料は、市として総合的に安くなる場所と契約する等、考えているのか。

(回答)

電力の自由化に伴い、高圧受電設備を持っている施設を市でピックアップし東電以外の事業者と契約している。新町交流センターも、事業者契約を変えた。その効果もあり、光熱水費については100万円弱減っている。その分修繕をしていただいたりしているのが現状である。新町交流センターは今年度も別の事業者が入っている。

(意見)

電子ブレーカーというものを間に入れる方法がある。一気に電源を入れるとすごく上がるので、少しずつ上がるようにすると全体の容量が少なくて済むというしくみがある。壊れた場合にどうするかということがあり、なかなか難しいが、行政でもどうか。また、時間設定でこまめに電源を落とすほか、LED にするなどして、マンションでは電気料が年間30～40万円ほど下がった。小さなマンションでもそうなので、大きな施設では考えた方がいいと思う。

=まとめ(採点) =

～第2回日野市指定管理者市民評価委員会終了～